

# 歌仙家集

災

太政官文庫			
		三一八	和
		二四七	書
三六	二九	冊架	門
冊架	函號		

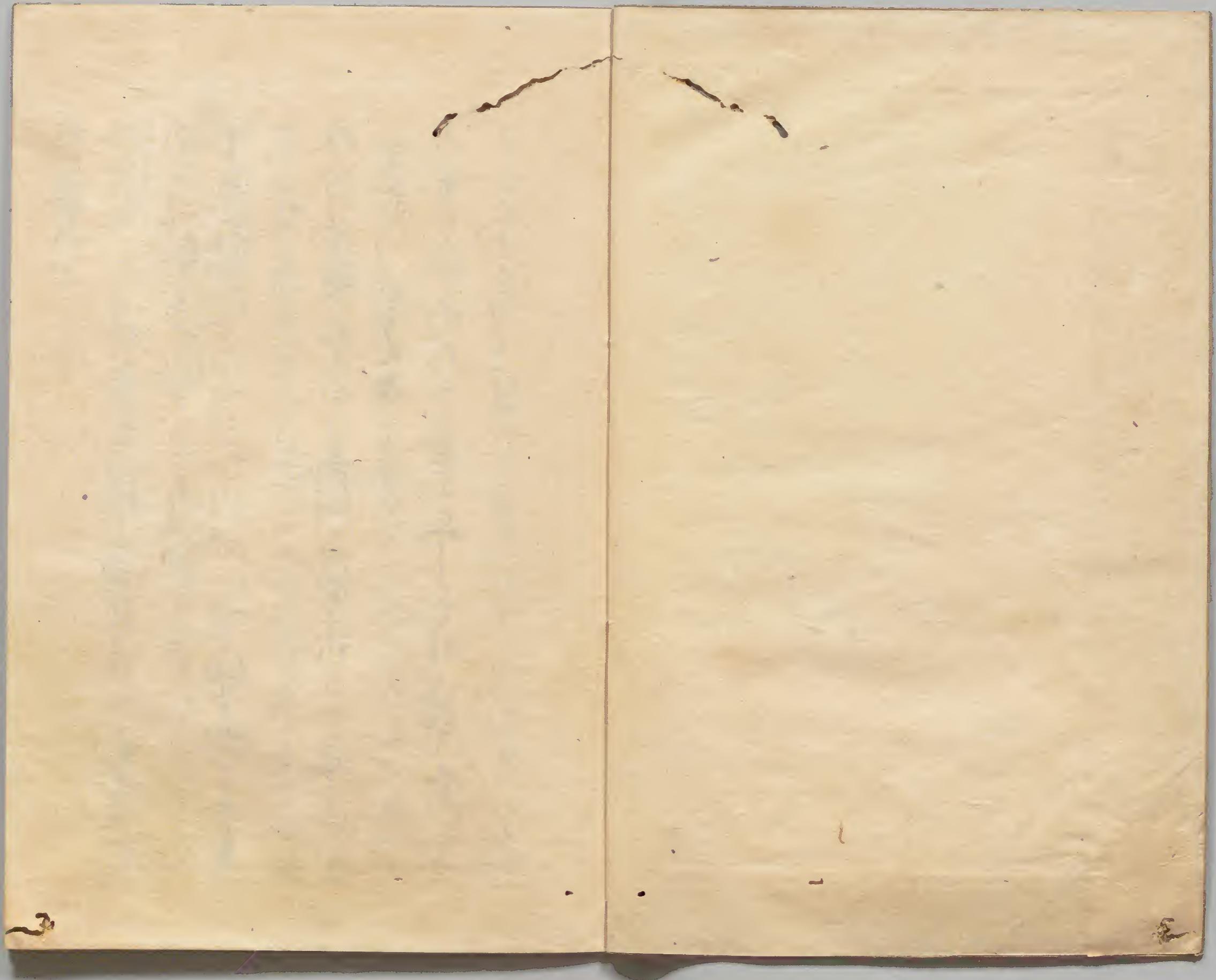
內閣文庫			
三〇		三一八	和
一函		四七	書
一五	三六	冊架	類
架	冊	號	

內閣文庫		
番號	和	31847
冊數		36 ( 25 )
函號	201	434

共廿六

廿五







池ありいしつらふはるいふみこりきつらふ  
を申さふうまうら

人の名れおしきりそめすまうらふあめらうら

女也ー

いあもあらしきれあうたの<sup>ち</sup>い<sup>し</sup>い<sup>し</sup>い<sup>し</sup>

物いとてせう

<sup>後撰</sup>いさうふまらあー白<sup>の</sup>澄<sup>の</sup>あ<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ひらたあ

也ー

あーい<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ぬが<sup>ん</sup>白<sup>の</sup>澄<sup>の</sup>あ<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ひらたあ

よの井れうらてふた浦の若れ房しりてさうら  
うらうらふむじいけく

高のが良の若らうらあらしきうらうらあ  
也ー

ちのぬとてさうすてーな後とてあお招りてと家

也ー女

<sup>後撰</sup>白<sup>の</sup>澄<sup>の</sup>あ<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ひらたあ

或れ物うらうらうらうらうら

あーい<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ぬが<sup>ん</sup>白<sup>の</sup>澄<sup>の</sup>あ<sup>の</sup>神<sup>の</sup>ひらたあ

程へて女房よりいふ事れとあり給りて其事とて  
いと給りまはし

舞より女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

なり

ほ撰

の御事とていふ事れは清めうらめしうといふ事

人志強ぬ中の女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

おとあはれとていふ事

うらめしうといふ事れは清めうらめしうといふ事

七月七日

女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

本流の侍様よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

又おとあはれ

新報撰

いふ事れは清めうらめしうといふ事

なり

女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

本流の侍様よりいふ事れは清めうらめしうといふ事

女房よりいふ事れは清めうらめしうといふ事







御書おたゝりてあを勅てそ山の首ふ我のさふ家

長春遣使

村上清時命をたゝり給ふてち申すまじしよ

くさうてくぬらとて

拾遺

弟代りりめくまを初とてしと好末の御そまを

拾遺

権中納言をさしいのあうて

まじい山あひたさうてあうたを中納言の御そまを

こられくおのこふ白河とて見給ふとて

けうしとまじお坂の御そまをさうとあぬまをさうと

けうの家物をさうとあぬまをさうとあぬまをさうと

けうのくしとまじお坂の御そまをさうとあぬまをさうと  
あぬまをさうとあぬまをさうとあぬまをさうと

けうの月約引とて中秋のく光あぬまをさうとあぬまをさうと

く

拾遺

拾遺 花のさうりよ

日や

けうのあま新とてのけいも神とあぬまをさうとあぬまをさうと

女清よ

けうの御そまをさうとあぬまをさうとあぬまをさうと

也

あぬまをさうとあぬまをさうとあぬまをさうとあぬまをさうと

おてのふりてあまがさうり川めせ有申したのこつるお  
十一月右吉澤尉蒞親盛く物のつひいよひ記きり  
うりまをたじきてつてきりつとせんと  
お路のいしとあゆみえ務こしてたごきあつたつて  
朱雀院乃こし院よりせ給ては伝名のみ  
さしつり給をゆしてゆめいのおり  
年と梅も道とといふ種をふあつ種も病もあぬ  
あれが年いこのせんたいの西村よりあきつる  
年号あつてのあけまはなつめんとてとえ

りん

下りたあつとあまがさの礼記あつたあつた  
天曆三年正月子日院小あつてつるま  
ねとじとあまがさの昔らつとせとつるま  
日めは由裏あつて  
うつ善お申すつる院の限もあつたあつた  
六年八月十八夜朱雀院みくつる種を  
給て神宮十九日こつりゆまつたあつた  
うりまのあつた

は事しくとおきう種をうそふまは昔とそくし集を  
きんか

神字十九日女房此あつしりまきう

時ぬつちもき急つこころつた露をくら種一粘ふ忘れ

平光朝臣のりふ小女をいそきて朝忠釣臣

朝忠

世中いたるふのこおつてあつてあつた昔と集のりん

こふおつりりこそそつてあつたまきうてころまきう弁

ぞちらつち物あふふのめきこあつたあつたあつたあつた

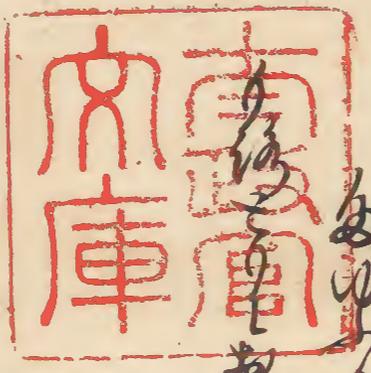
うれと一十二月りつこも乃ゆぬうらまき

うそまのらせ給う

ちるあきとあつた山れ小ねをいそまきうちをれまきうあ

ぬゆつりしりあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



一標

